

- ☑ H30 一般廃棄物及び処理状況の発表
- ☑ 「持続可能な開発目標活用ガイド」
- ☑ 事業活動報告、SEF からのお知らせ



トピックス

平成30年度の一般廃棄物及び処理状況が発表されました(環境省)

環境省は3月30日、平成30年度における全国の一般廃棄物(ごみ及びし尿)の排出及び処理状況等の調査結果を取りまとめ、公表しました。

ごみの総排出量は平成24年度以降6年連続で減少傾向が続いており、平成24年度実績と比較すると、事業系ごみは0.5%、生活系ごみは7.7%の減少となっています。一方で、ごみ処理事業経費は平成25年度から上昇傾向が続いています。この10年間で最も低かった平成24年度の17,885億円から3,025億円も増加しており、平成29年度と比較しても1,165億円増、約6%もの増加となっています。特に収集運搬及び中間処理に係る委託費の増加が引き続き目立っている傾向にあります。

主な結果(抜粋)

- ☐ごみの総排出量は4,272万トン(前年比△17万トン)
1人1日当たりのごみ排出量は918グラム(前年比△2グラム)
- ☐最終処分量は384万トン(前年比△2万トン)
- ☐ごみ焼却施設数は減少(前年度1,103施設→1,082施設)
- ☐発電設備を有するごみ焼却施設は全体の35.0%(前年比+0.9%)
- ☐ごみ焼却施設における総発電電力量は増加→9,553GWh、約321万世帯分の年間電力使用量に相当
- ☐リサイクル率は19.9%と若干低下(前年比△0.3%)
- ☐最終処分場の残余容量は20年間続けて減少(前年比△1.5%)
最終処分場の数は引き続き減少傾向にあり、確保は厳しい状況
- ☐ごみ処理事業経費は20,910億円(前年比+1,165億円)
国民1人当たり換算すると16,526円(前年比+1,026円)

詳しい内容は環境省ホームページ内の報道発表資料(下記リンク)からご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/107932.html>

トピックス SDGsの取組推進に、ぜひご活用ください。

「持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド」(第2版)が発行されました(環境省)

環境省は、持続可能な開発目標(SDGs)に係る取組の進展に寄与することを目的に、企業がSDGs達成に向けて取り組む際の手引として「持続可能な開発目標(SDGs)の活用ガイド」を平成30年6月に作成しています。去る3月10日、その第2版が発行されました。

このガイドは、これまでSDGsに関する取組を行っていない、またはSDGsに関心を持ち何か始めてみようと考えている**中小企業を主対象**としています。このため、地域経済を支え、地域の中心となり活動している方々にとって使いやすいことを意図しています。

今回の改正では、SDGsを取り巻く国内外の情勢の変化や進展を反映。第五次環境基本計画(平成30年4月閣議決定)で提唱した「地域循環共生圏(ローカルSDGs)」や「ESG地域金融」などの関連情報がより詳細に記載されています。また、ケーススタディ事例を更新し、優良事例、参考となるガイドライン・ツール・各種支援制度などが新たに追加されています。



出典：環境省 HP

本編、資料編ともに、環境省HP(下記リンク)からダウンロードが可能です。ぜひご活用ください。

<http://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>

SEFからの

お知らせ

2020年度ゼロエミッション研究会開催決定!

メイン企画

群馬県太田市周辺での食品リサイクルループ構築

2019年4月より、「実践で学ぶ! 持続可能な食品リサイクルループのつくり方~仕組みづくりから認定取得まで~」と題して開催した2019年度ゼロエミッション研究会。外食産業の環境部門担当者を中心に、11社延べ79名の参加をいただき、4回の勉強会と1回の見学会を実施しました。その成果として、排出事業者5社参加による愛知県名古屋市の食品リサイクル法に基づく再生利用事業計画(食品リサイクルループ)の作成・申請を実現しました。

そしてこのたび、2020年度ゼロエミッション研究会の開催が決定しました。

本年度の研究会では、**群馬県太田市周辺での食品リサイクルループ構築**をメインの取組とします。また、新たに「食品ロスの削減」をテーマに加え、さらには近年課題となっている「廃プラスチック類」にも焦点をあてるなど、より実践的・実用的な企画となるよう、準備を進めています。

本年度の研究会は6月下旬からの開催を予定しています。詳細は、SEFホームページやニュースレターでご案内します。昨年度ご参加いただいた皆様も、これから取組みを始めたいと考えている皆様も、ぜひご参加をご検討下さい。



2020年度ゼロエミッション研究会 概要



**実践で学ぶ! 食品ロスの削減と
持続可能な食品リサイクルループの構築**

期間: 2020年6月~2021年3月

対象: 食品小売業・外食産業の環境・CSR担当者

費用: 70,000円/社

※賛助会員(団体)加入者は無料

内容: ・勉強会(4回予定)、現地見学会

・個別相談

・申請書類作成支援 など

SEFからの

お知らせ

資源管理適正化支援システム「SEF-Net」を ご活用ください!

SEFでご提供している“資源管理適正化支援システム「SEF-Net」”は、廃棄物の適正処理が円滑に行われ、再資源化促進への意欲を高めて頂くことを目的としたクラウドサービスです。

排出事業者の廃棄物管理業務の効率を高めるために、廃棄物管理に関わる全ての情報をデータ化します。そして、日常業務管理からコンプライアンス・リスク管理、事業者間のコミュニケーションに至るまで、廃棄物・資源物に関するあらゆる業務をクラウド上で管理することが可能なシステムです。

一部の事業者においてこの4月1日から義務化された“電子マニフェスト”も、このSEF-Netを活用して運用管理することが可能です。

「インターフェイスの工夫による作業性向上」「複数個所での同時登録・修正が可能」「予約登録の件数の制限なし」など、電子マニフェストを運用管理するうえでのメリットも満載です。

電子マニフェストの導入支援も合わせて行っていますので、まずはお気軽に事務局(TEL:03-5737-2744)までお問い合わせください。

廃棄物管理をもっとスムーズに!

資源管理適正化支援システム

SEF-Net



詳しいご案内は SEF-Net ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/sef-net/>

森林再生事業 活動報告

2月の活動報告(定例) ～日向の森(千葉県山武市)～

2月は第4週の定例活動日が荒天により中止となり、1回の活動となりました。

2月10日の活動では、賛助会員企業「インフォアジャパン(株)」の従業員の皆様が、企業内のボランティア企画の一環でご参加下さいました。

企画スタッフの方が、昨年1月に初めて日向の森での活動に参加され、ぜひ他の従業員にも体験してもらいたいと、参加を呼び掛けて下さったとのことで、SEFスタッフを合わせて20名でのにぎやかな活動となりました。

朝礼のあと、森林を散策しながら活動を紹介。その後、間伐エリアで伐倒作業を体験し、丸太の搬出まで一連の流れを体験していただきました。続いて、2013年に植樹したスギのエリアに移動して「枝打ち」作業。昨年参加された方がとても楽しかったとのことで、今回の活動メニューにリクエストしていただきました。



インフォアジャパン(株)の皆様、ありがとうございました。
ぜひ、また日向の森へお越しください。

※SEFでは、企業様単位での活動へのご参加をお待ちしております。
日程、内容等ご相談に応じますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

森林再生事業 活動報告

2月のイベント報告 ～東御の森(長野県東御市)～

森林環境イベント「第11回 東御の森の自然について学ぼう(東御の森から森の自然環境について考える)」を開催しました。

前半は、都内の高校生が森で行なっているネイチャートレイルやウリハダカエデとメープルシロップの採取、野鳥・定点カメラで撮影した動物たちなど、森内に生息する動植物が、いろいろな視点から紹介されました。後半は「植生的に安定した森林」をテーマに、森の遷移や土壌などについ

での専門的な話題提供がありました。農林課職員からは東御市内の森林についての話がありました。

参加された方から「森の必要性をあらためて感じた」「森を知ることは森を守ることにつながる」などの感想がありました。千曲川流域では昨年台風19号で大きな被害が発生し東御市内にも被害が出たこともあり、「森はほんとうに大事」という声もありました。



臼杵の森で3年前から毎年春に実施し、恒例行事となった苗木の植樹イベント。今年もサポーターの皆様にご参加いただいていたのを実施を予定していましたが、感染症拡大の影響を考慮しイベント開催を見合わせ、スタッフによる植樹作業を行いました。

春に美しい花を眺めながら森の散策を楽しんでもらいたいという思いで、森の入り口から道沿いに植え始めた桜の木。シカによる食害から苗木を守るため、一本一本にシェルターをかぶせ、丁寧に植えていきます。今年50本の苗木を植え、この3年で360本になりました。3年前の苗木もすくすくと育っていることを確認できました。花が咲く日を楽しみにしたいと思います。



臼杵の森での活動は、次回は秋頃を予定しています。
九州のサポーターの皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしています。

4月・5月
森林保全活動
のお知らせ
ボランティア
募集中!



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日(東京駅から送迎いたします!)に定例活動を行っているほか、

兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的を実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、

ぜひご参加ください。

<4月・5月の活動予定>

●千葉県山武市

4月11日(土)、4月25日(土)、5月9日(土)

●兵庫県丹波市 決定しだいホームページにてご案内します

※日程は変更となる可能性があります。

活動の詳細、お申込みはコチラ <https://goo.gl/uEt3CZ>

※感染症の拡大に伴う活動実施の考え方とご注意については、下記 SEF ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

